



うわ 美しき魂

ご覧ください！



伊中ブログ 伊中HP

日置市立伊集院中学校学校便り

令和6年9月2日 第5号

「気づき、考え、実行する伊中生に」

飛躍と成長の2学期にするために

～伊中生の心を育て、よさを発揮できる伊集院中学校を目指します～

校長 小野 修

県内外に大きな被害をもたらした台風10号が通過し、長かったはずの44日間の夏休みが終わり今日から2学期が始まりました。夏季休業中に県総体や九州大会そして全国大会等に出場しそれぞれの舞台上で生徒たちは活躍し、今日は心身共にたくましく成長した生徒を学校に迎えることができました。

今年の夏は、コロナ禍を経たパリ2024オリンピック・パラリンピックが開催されています。大会スローガンに「広く 開かれた大会に」を掲げて開会式はセヌ川で、選手たちは船に乗ってパレードしました。競技もパリの有名な史跡や建築遺産を舞台に行われるなど、世界の人々の記憶に残る大会になりました。また、日本選手の活躍も連日報道され金メダル数は20個で世界第3位、メダル総数も海外開催のオリンピックで最多の45を記録しました。日本だけでなく世界各国の選手が懸命に競技に挑む姿は、勝者も敗者も私たちに勇気と感動を与えてくれます。「スポーツの力」という言葉がありますが、それは、言葉を超えて人々の心を動かす力です。そして、世界の舞台上で活躍するメダリストが共通して口にする言葉は「感謝」の言葉です。メダルの向こう側には人知れぬ努力や練習、苦労や挫折を乗り越えた物語があります。きっと今まで自分を支えてくれた家族や仲間、チームメイトそして応援してくれた全ての人への感謝の気持ちが言葉に表れるのだと思います。

さて、今年の夏の甲子園大会は県代表の神村学園が、2年連続ベスト4の快進撃を魅せてくれました。準決勝で惜しくも敗れましたが、小田監督は試合後のインタビューで「監督が見ていなくてもきちっとやるべきことをやれる集団になろうと。これをしたら監督が怒るだろうなとか、これをしたらダメだよなとか、自分で日頃から判断して大人の集団になろうと今日まで来た。きちんと状況を判断して今日まで来た。大人の高校生を見ることができた。すごく成長を感じたのでよかったです」と選手たちを称えました。甲子園を目指し、甲子園の舞台上で成長した姿を実現したからこそその言葉だと私は思います。

このように、オリンピックや甲子園という最高の舞台上で最高のパフォーマンスを発揮するためには心・技・体の三つの要素が姿となって現れるのだと思います。その中でも「心」とはやるべきことをやり続ける強い意志や当たり前のことを当たり前にできる心掛けなどの精神力です。「心」の持ち方はさりげない日常の行動に表れます。例えば、家庭や学校そして地域であいさつができること、落ちているごみに気付いて拾えること、困っている友達に気付いて協力したり、声をかけたりすることなどです。心・技・体の「心」とは気配りと心配りそして思いやりや感謝の心が言葉や姿になって現れることなのです。

私は今日から始まる2学期を伊集院中学校の生徒たち一人一人にとって「飛躍と成長の2学期」にしたいと考えています。そして、「飛躍と成長の2学期」にするためには心・技・体の中でもとりわけ生徒の心を育てて、生徒のよさを最大限に発揮できる学校を目指したいと思います。2学期には数々の教育活動を計画しています。9月には体育大会に修学旅行、10月には生徒会役員改選に始まり中体連の新人戦や文化祭、11月は校内ロードレース大会などが次々に行われます。学校行事は打ち上げ花火ではありません。目的なくただやらせるだけでは意味や価値がありません。教育活動の前（ビフォー）と後（アフター）で生徒たちの心の変容を飛躍と成長の姿で実現させてこそ真に意味と価値のある活動になり得るのです。

私たち伊集院中学校の教職員全員で生徒たちの心を育て、そのよさが発揮できるように全力を尽くして指導に努めてまいります。そして、2学期の全ての教育活動を通して生徒が心身ともに飛躍し成長する姿を実現できるように、生徒一人一人を「見守る」、「寄り添う」だけでなく、生徒の声にしっかりと耳を傾けて「壁になれる」ように支えてまいります。

ご家庭や地域の皆様におかれましても2学期の伊集院中学校の教育活動に対する変わらないご支援とご協力をお願いいたします。

※ 伊集院中熱中症対策の指針を見直しました。ホームページに公開しておりますので、ご覧ください。



1 学期学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。



7月末に実施した「学校評価アンケート」への御協力、本当にありがとうございました。結果の一部を紹介します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

No	項 目	平均
1	子どもは、学校が楽しいと言っている。	3.3
2	子どもは、親にも地域の人にも日頃から積極的にあいさつしている。	3.2
3	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	2.9
4	子どもは、家庭学習（宿題等）に毎日継続して取り組んでいる。	2.8
5	学校は、分かりやすい授業や補充指導を行っている。	2.9
6	学校は、子ども一人一人に思いをめぐらし、優しさと厳しさをもって対応できている。	3.2
7	学校は、子どもたち同士のトラブルやいじめ等の問題に対して、誠実かつ誠意をもってしっかりと取り組んでいる。	3.2
8	学校は、学校便りやブログ、各種通信やホームページ等を通して、学校の教育方針や学校での子どもの様子等を伝えている。	3.4
9	学校は、家庭への連絡等を積極的に行うなど、信頼関係づくりに努めている。	3.3
10	家庭では、親として子どもの学習の見届けをしている。	2.7
11	＜願う保護者の姿＞家庭では、子どもと語り、子どもと共に学ぶ機会をもっている。	3.2
12	＜願う保護者の姿＞家庭では、規範意識を身に付けさせるために、「良い行い」や「悪い行い」など、あらゆる機会を通して子どもに対して指導や助言を行っている。	3.4
13	＜願う保護者の姿＞家庭では、あいさつや礼儀など、社会性を身に付けさせるために、基本的な生活習慣を身に付けさせようと努めている。	3.4
14	＜願う保護者の姿＞家庭では、夢や目標をもたせるために、親としての考えや生き方を示し、子どもと共に、これから先の未来（生き方）について考える機会をもっている。	3.3
15	家庭では、子どもの健康の維持や体力向上を図るために「なるべく歩いて登校」に努めている。	3.1
16	家庭では、子どもの健康の維持や体力向上を図るために、十分な睡眠時間の確保に努めている。	3.2
17	家庭では、子どもの健康の維持や体力向上を図るために食育（バランスの取れた食事）に努めている。	3.2
18	インターネットやスマホ等の使い方について家庭でのルールを設け、守れるように声を掛けている。	3.1

【考察】

学校評価アンケートは4段階で評価していただきました。数値が高いほど、皆様の評価が高いということになります。質問項目の中で、一番数値の高い項目は、8, 12, 13の項目でした。「規範意識を身に付ける」「基本的生活習慣の確立」という点については、学校と家庭の連携・協力が何よりも重要です。これまでの取組に感謝申し上げるとともに、今後もよろしくお願いいたします。

一方、低かった項目は、3, 4, 5, 10でした。3, 4, 5については「学習者主体の授業実現プロジェクト」での研究授業やその他の研修等を通して、これからも学習改善や授業改善に努めていきます。また家庭学習の取り組み方についても、改善と充実が図られるよう、指導していきます。10については、家庭学習の充実のためには、御家庭での見届けがとても重要です。最低でも「1年生90分、2年生120分、3年生150分」の学習時間が確保できるよう、見届けをよろしくお願いいたします。

今回、皆様から多くのご意見もいただきました。詳しくは、伊集院中ホームページに掲載しております。学校評価の結果を、これから2学期の学校経営に生かしていきますので、今後とも、学校の教育活動へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

愛校作業ありがとうございました！

8月25日（日）に3年生による親子愛校作業が行われました。

当日は非常に蒸し暑い状況でしたが、熱心に作業に取り組んでいただいたおかげで、2学期は美しい学校環境で、スタートできます。本当にありがとうございました。



第3回うるたま学級のお知らせ

今回は電話やオンラインチャットで子どもの声を聴き、その気持ちに寄り添う活動を行っている「チャイルドラインかごしま」代表の山崎真子さんによる「子育て講話」です。是非お越しください。申込みはQRコードから！

日 時：令和6年9月20日金曜日19:00～
場 所：伊集院中学校図書室

